

孫の手通信



第6号

平成20年5月11日

玉川孫一郎と歩む会

TEL/FAX: 0475 (42) 1400

<http://magoichiro.blog47.fc2.com/>

玉川孫一郎の新しいまちづくり

政治家はよく「前向きに検討する」「積極的に考える」などといいますが、これは、「やらない」と言っているのと同じです。私は、できないことを申し上げるのは、町民の皆さんに「うそ」をつくことになるので、いたしません。四年の任期の中で必ず実現に向けて取り組むことだけ皆さんにお知らせいたします。

私は、豊かな環境の中で、元気な子どもの声が聞こえる町、若者がつぎつぎ町、そしてお年寄りが安心してすごせる町を目指します。

この目標に向かって以下のようなことに取り組みます。

◎お年寄りが買い物や通院に気軽にに行ける町に！

— 駅のバリア・フリー化と東口開設、巡回バス・乗り合いタクシー運行を

駅にエレベーターをつけるとすると、町の負担は一基約二千五百万円です。跨線橋を伸ばして東口を設け、自動改札をつければ、東側からも電車に乗れるようになります。これらにより、ご年配の方、駅東側にお住まいの方のご不便が改善されます。

また、国土交通省の補助をもらい、バスや、乗り合いタクシーを試行運転し、日々の暮らしにお困りのご年配の方々はじめ誰でも、町をのびのび移動できるようにします。

駅の東口開設と巡回バスの運行は、町の活性化に大きく貢献します。

◎子供を安心して生みそだてる町に！

— 妊婦検診助成を十四回に

子供は、国の宝、町の宝です。現在五回の妊婦検診助成を、十四回まで拡大します。

保育園に幼稚園を併設し、子育て相談ができる幼保一元化を具体的に推進します。

◎ご年配の皆さんに寄り添う町に！

— 後期高齢者の方々の相談窓口を

後期高齢者医療制度がはじまりました。とまどっておられるご年配の方々が大勢いらつしやいます。町の役場に、お困りの皆さんに寄り添って一緒に話をさせて頂く窓口を作ります。また、六月以降に予定されている国民健康保険税の値上げをできる限り抑制します。

◎農業をもっと元気に！

— 「道の駅」設置と市民農園の実施を

農業は、一宮の宝です。ところが、流通・販売経路が限られ、農家の皆さんの収入が伸びません。そこで、直接販売のパイプを太くするために、東浪見のキャンプ場跡地に「道の駅」を設けることを具体的に推進します。

また、遊休農地を町が借り受け、市民農園として、希望する皆さんに貸し出します。これによって農地を保全しながら農家には収入をもたらし、利用者には自分が育てた新鮮な野菜を食べる喜びを体感してもらいます。

◎若者が集う町に！

— きれいな砂浜と松林のビーチに、トイレ・シャワー・駐車場を！

一宮の海岸にはなんと年間三十五万人ものサーファーが訪れます。町と住民が力を合わせて、海岸と松林をさらにきれいにし、トイレ・シャワー・駐車場を整備し、誰もが快適に海を楽しめるようにします。

また砂浜を取り戻すため、侵食に悩んでいる近隣の自治体や、同じ悩みを抱えている全国の自治体と連携して、国と県に有効な対策を強く要望します。

◎安心して暮らせる町に！

— 長生病院の充実を！

長生病院の医師不足解消と、二十四時間救急体制の充実を図ります。

まちづくりを

実現するため

の手段



イラスト by なご

次に、まちづくりを実現するための政策手法について、ご説明いたします。

◎行財政改革で財政基盤を強化し、財源を確保します！

— 職員採用抑制と町長報酬二〇％カット、町長専用車の廃止を

職員が、自発的に役場の業務と組織を見直して、ムダな経費を削減し、機能的な組織をつくりまします。また、退職者の補充を極力抑え、人件費を削減します。このような取り組みで、財政基盤を強化し、政策目標を実現する財源を確保します。

町長報酬カット分は、住民団体による町づくり提案事業にあて、夢あるまちづくりを推進します。

◎新たな住民の定住を促進し、税源を確保します！

— 経験・知識・意欲に溢れた首都圏の人々を一宮へ

一宮は東京から特急でわずか一時間です。町長を先頭に、東京方面へ向向き、各方面で活躍している方々に一宮の魅力をアピールし、定住してもらうよう宣伝します。そして、住民税や固定資産税を増やし、町内にある開発途上で放置されている土地の有効利用を促します。また、そういった方々の智慧や力を、まちづくりに生かしていきます。

◎笑顔で町民とともに歩む役場をつくります！

— 町長懇談会や町長室開放日を設けます

住民の立場に立つて、住民の要望や悩みをしっかりと受け止める町役場をつくります。そのために町長懇談会や町長室開放日を設け、町民の声を直接お聞きします。

問題点は役場の職員が主体的に解決方法を考え、町長の責任で改善していきます。

◎まちづくりに取り組み住民の皆さんと、積極的に協働します！

— 町の基本計画作成への住民の参加と、町民活動支援室の設置を

これからの四年間で、平成二四年度からスタートする新しい町の基本計画を作らなければなりません。その作業に、公募の形で住民の方にも参加して頂きます。また、町民活動支援室を設けて、皆さんの町づくり活動をサポートします。

◎住民参加を進めるため、情報を徹底的に公開します！

— 誰もがわかるていねいな予算説明書の全戸配布を

住民の皆さんと力を合わせるには、正確な認識・情報を共有しなければなりません。北海道のニセコ町にならって、わかりやすい予算説明書を皆さんにお届けします。

【最後に】

◎合併問題は住民投票を実施し、議会とよく協議して決定します！

将来、再度合併問題がおこった時には、十分な情報を町民の皆さんにお知らせし、その上で住民投票を行います。その結果を踏まえて、議会とよく協議して結論を出し、最もよい方向へ進みます。

一宮をこんな町に！

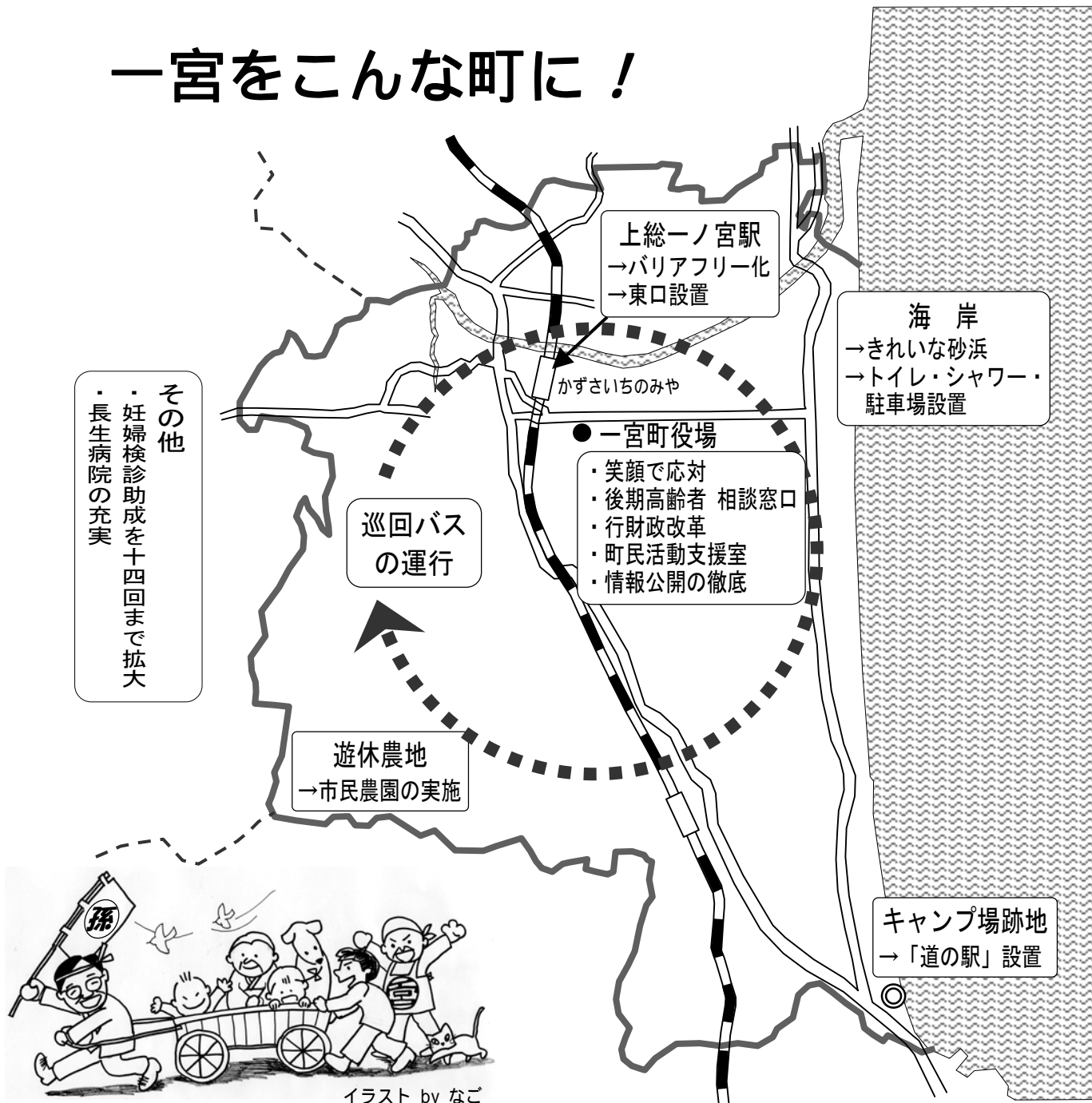


イラスト by なご